

トピックス



～太陽光発電システム～ 住宅用約13,000件の販売実績をベースに、 産業用(法人・事業所向け)事業展開へ

当社は、住宅用太陽光発電システムの販売開始(平成21年秋)以降、13,000件を超える販売実績を築いてまいりました(平成24年9月末現在)。

現在は、この住宅用での実績をベースに、「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」によってニーズが高まっている、産業用の太陽光発電事業も展開いたしております。低圧受電設備で対応可能な50kW未満の設備を中心に、集合住宅や工場の屋根、遊休地等への設置提案を進めているところです。

太陽電池モジュール製造から設置工事、アフターメンテナンスまで当社グループによる一貫体制によって、迅速化・コストダウンを図り、市場競争力の高い商品を投入してまいります。

また、再生可能エネルギー「太陽光発電」と並んで、プラスチックのリサイクルエネルギー「資源循環型発電」事業を展開しており、これら二つの環境配慮型エネルギー事業によって、次世代の快適な環境づくりに貢献してまいります。

■エネルギー関連のサンニクスグループ

	会社名	主な事業内容
太陽光発電	(株)サンニクスエンジニアリング	産業用太陽光発電の販売・施工等
	善日(上海)能源科技有限公司	太陽電池モジュールの製造・販売等
資源循環型発電	(株)サンニクスエナジー	プラスチックの再生燃料を使用する発電事業(サンニクスエナジー苫小牧発電所)
	(株)北海道サンニクス環境	サンニクスエナジー苫小牧発電所用のプラスチック燃料化加工等

なお、当社におきましては、福岡県宗像市及び、学校法人中村産業学園(福岡県)との産学官相互協力により、同市における大規模太陽光発電(メガソーラー)事業の実施を決定いたしました。

大規模太陽光発電所「サンニクスソーラーパークむなかた」(発電出力約2MW)を、来春着工、来年6月竣工予定です。



平成24年10月24日、三者間での連携協定書締結式を実施。写真右より、谷井市長様(宗像市)、山本学長様(九州産業大学)、当社社長宗政。



[会社概要] (平成24年9月30日現在)

商号 株式会社サンニクス
本社 福岡市博多区博多駅東2丁目1番23号
設立 昭和53年9月
資本金 140億4,183万円
従業員数 1,510人

株主メモ	
事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
同 連 絡 先	
上場証券取引所	東証・大証一部、福証
公告の方法	電子公告 公告掲載URL http://sanix.jp (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式会社サンニクス

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目1番23号
TEL.092-436-8870
URL.<http://sanix.jp>

SANIX

株主通信

第35期第2四半期累計期間
平成24年4月1日から平成24年9月30日まで

INNOVATION

■ 株主の皆様へ

株主の皆様には、サニックスの事業へのご理解とご支援を頂き、厚く御礼申し上げます。

当グループでは、中期経営計画「Spring Plan 2012」(平成23年3月期～平成25年3月期を対象とする3ヵ年計画)に基づき、多様化する市場ニーズに対応するエコビジネスを展開しており、今期はその最終年度にあたります。

現在、注力しているのは、再生可能エネルギー「太陽光発電」と、プラスチックのリサイクルエネルギー「資源循環型発電」の二つのエネルギー事業です。エネルギー問題が深刻さを増す中、化石燃料に代わるエネルギー源の提供により、環境保全とエネルギー問題解決に貢献することで、本格的な業績回復を図ってまいります。

太陽光発電システムにつきましては、住宅用の売上が堅調に推移する中、今夏以降、産業用事業にも取り組んでいるところです。

また、事業所等から排出される廃プラスチックの燃料化事業及び、当再生燃料を利用する発電事業につきましても、サニックスエナジー苫小牧発電所(北海道苫小牧市)の稼働率改善及び、社会的な電力供給不足による売電単価上昇により、収益性が大幅に改善いたしております。

引き続き、コンプライアンス徹底のもと、エコビジネス及び、その延長線上にある環境配慮型のエネルギー事業を通じて、成長路線への転換を図ってまいりたい所存です。

今後とも、変わらぬご支援を賜りますよう、心より、お願い申し上げます。

平成24年12月



株式会社サニックス
代表取締役社長

糸政 伸一

■ 事業概況

当第2四半期連結累計期間における売上高は、HS(ホーム・サニテーション)事業部門においては、「白蟻防除施工」等の既存商品は減収したものの、「太陽光発電システム」が前年同期比146.0%増と堅調に推移し、部門全体では前年同期比5.1%増となりました。また、環境資源開発事業部門においては、搬入量増加による「プラスチック燃料収入」の増収(前年同期比52.8%増)及び、苫小牧発電所の安定稼働や売電単価の上昇による「売電収入」の大幅増収(同89.4%増)によって、部門全体では前年同期比41.1%増となりました。これらの結果、グループ全体の売上高は18,184百万円(前年同期比17.7%増)となりました。

利益面では、HS事業部門においては、利益率の高い「白蟻防除施工」、「床下・天井裏換気システム」の売上比率が低下したことで減益となったものの、環境資源開発事業部門においては、増収効果により大幅な増益となりました。この結果、グループ全体の増益は、524百万円の営業利益(前年同期比96.6%増)、508百万円の経常利益(同114.5%増)、379百万円の四半期純利益(前年同期は0百万円の四半期純損失)となりました。

■ 通期連結業績予想数値 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

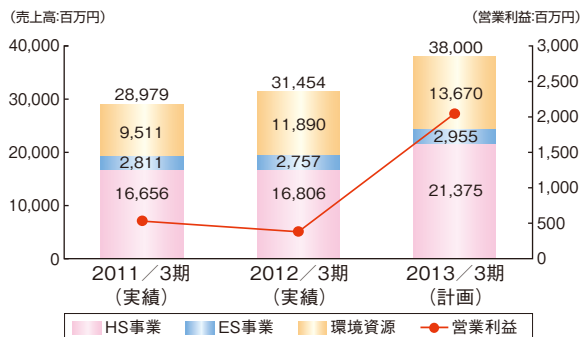
平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年5月11日に公表しました連結業績予想に変更ありません。

(単位:百万円)

	2013/3期 上期実績	2013/3期 通期計画
売上高	18,184	38,000
HS事業部門	9,320	21,375
ES事業部門	1,452	2,955
環境資源事業部門	7,411	13,670
営業利益	524	2,000
HS事業部門	816	2,723
ES事業部門	51	140
環境資源事業部門	792	1,385
消去又は全社	△1,136	△2,248
経常利益	508	1,970

△は損失。

■ 売上高と営業利益の推移(連結)



■ 連結財務諸表

■ 貸借対照表

(単位:百万円)

項目	期別	前上期末 (H23/9)	当上期末 (H24/9)	前期末 (H24/3)
資産の部				
流動資産		5,626	7,953	6,964
固定資産		14,277	14,219	14,322
資産合計		19,904	22,172	21,286
負債の部				
流動負債		6,732	8,856	8,380
固定負債		6,066	5,743	5,770
負債合計		12,798	14,599	14,151
純資産の部				
純資産合計		7,105	7,572	7,134
負債純資産合計		19,904	22,172	21,286

■ 損益計算書

(単位:百万円)

項目	期別	前上期 (H23/4~9)	当上期 (H24/4~9)	前通期 (H23/4~H24/3)
売上高		15,452	18,184	31,454
(HS事業部門)		8,868	9,320	16,806
(ES事業部門)		1,341	1,452	2,757
(環境資源開発事業部門)		5,243	7,411	11,890
売上原価		10,060	12,338	21,012
売上総利益		5,392	5,846	10,441
販売費及び一般管理費		5,125	5,321	10,032
営業利益		266	524	409
営業外収益		65	73	132
営業外費用		94	89	194
経常利益		237	508	347
特別利益		—	1	3
特別損失		9	0	10
税金等調整前四半期(当期)純利益		227	510	341
法人税、住民税及び事業税		105	121	170
法人税等調整額		122	9	158
少数株主利益(△損失)		△0	△0	△1
四半期(当期)純利益(△損失)		△0	379	13

■ キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

項目	期別	前上期 (H23/4~9)	当上期 (H24/4~9)	前通期 (H23/4~H24/3)
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,005	913	1,260
投資活動によるキャッシュ・フロー		△65	△88	△151
財務活動によるキャッシュ・フロー		△1,116	△419	△881
現金及び現金同等物の増減額		△176	404	227
現金及び現金同等物の期首残高		1,138	1,365	1,138
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高		962	1,770	1,365

△は支出及び減少。

■ 所有者別株式状況(平成24年9月30日現在)

政府・地方公共団体	0千株	0.00%
金融機関	3,744千株	7.87%
金融商品取引業者	2,107千株	4.43%
その他法人	9,620千株	20.21%
外国法人等	4,504千株	9.46%
個人その他	27,617千株	58.03%
計	47,594千株	100.00%